

真澄 (ますみ)

富士川第二小中一貫校 松野学園

中学部 学校だより

目指す子供像「夢を語れる子」

学校教育目標「自ら学び ともにみがき合う」

重点目標「やってみよう！」

令和5年7月20日 No.3

熱い思いや願いが会場を包み込みました

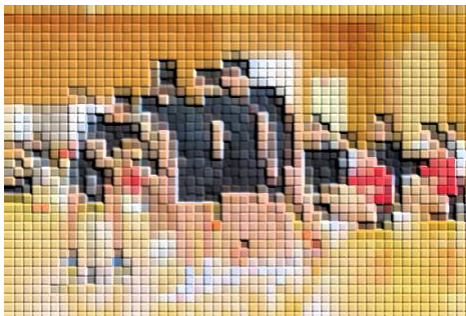
9年生壮行会・児童生徒会立会演説会

4月5日(水)にスタートした令和5年度も、7月21日(金)で節目を迎え、夏季休業に入ります。保護者・地域の皆様のご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。

6月終わりからここまでの間に、子供たちの熱い思いや願いが会場を包み込む行事が2つありました。

まず一つ目は、9年生壮行会です。6月20日(火)体育館2階で、9年生と8・7年生が対面する体型で開催されました。

今まで中心となって部活動を牽引してきた9年生が、力いっぱい活動してきたことを振り返り、様々な大会や締めくくりの活動に臨む意気込みや、支えてくれた下級生への感謝等を伝えました。同じく8年生と7年生から、背中であくさん教えてくれたことや、温かい声掛けを何度もしてくれたことへの感謝と、大会での活躍を祈念するエールが送られました。



体育館2階の天井は高いです。しかし、両者の間を行きかう言葉や眼差しの奥にある熱い思いが高い天井を含めた会場に広がり、子供たち全体を包み込みました。それは、見ている私たちの心をも動かす温かい会でした。子供たちの誠実かつ純粋さを改めて感じました。

二つ目は、児童生徒会立会演説会です。7月18日(火)児童生徒会会長・副会長にそれぞれ立候補した8年生と7年生、計6名の生徒たちが、三つに分けた演説会場を順番に訪れ、今後の活動に関する思いや具体策を語りました。

数年ぶりの対面による演説会は、立候補者の言葉が、会場で聴いている子供たちの心に直接届いていることが見ている私たちにも伝わってきました。小学校5・6年生の児童が演説を聴くという、富士市の他校になり強みも改めて感じました。演説を聴いている生徒から、役員に任せっきりでな



く、より良い児童生徒会活動を目指して、自分たちも貢献しようとしていることが分かる質問や、多様な考え方への配慮をお願いする提案が出されるなど、共に松野学園を盛り上げていこうという一体感が生まれている姿に胸が高まりました。

新しい児童生徒会役員が活動を開始するのは、松翔祭スポーツの部以降です。新役員だけでなく、全ての児童生徒が、それぞれの役割を全うし、更に輝く松野学園になることが期待できる会でした。

様々な交流が厚みのある成長につながっています

本校の強みの一つは、小学生と中学生が同じ屋根の下で生活していることです。加えて、保護者の皆様をはじめ地域の皆様の非常に温かいご支援をいただいていることです。つまり、縦と横の人との強く温かい関わりがあります。そしてそれが、子供たちの豊かで厚みのある成長を促進していると感じます。

現在、大変嬉しいことに、様々な交流の輪が各所で起きています。昼休みには、7年生が、小学校2年生の子供たちの基礎的な学習を支える姿が見られます。机に座って算数ドリルや漢字の書き取りをする児童の傍に同じ目線になるようにそっと座り、温かく見守ったり、そっと助言をしたりしている姿が微笑ましいです。



同じく昼休み、地域活性部のメンバーは、小学校1年生の教室を訪れて、安全に関する絵本を読んだり、ICT機器を活用し安全な登下校について伝えたりしました。

また、8年生は、家庭科の学習で、松野こども園の子供たちと一緒に遊ぶことで学ぶ活動を今年度も行いました。柔らかい笑顔で園児に関わる生徒を見ると、保育士さんのように子供たちを慈しむ温かく優しい気持ちが芽生えていることが見え、嬉しく思いました。

さらに、林間や臨海などの宿泊行事で学んだことを、下級生に伝える活動をしたり、「夢を語れる子」を目指して、外部講師を招いて講演を聴くことで、視野を広げたりなど、人との出会い関わりにより、子供たちが自らを磨き、高め合う姿がたくさん見られました。夏季休業明けも様々な関わりが計画されています。子供たちの更なる成長が楽しみです。

自慢できる夏季休業を

7月22日（土）から8月24日（木）の期間、夏季休業となります。普段はなかなかできないことにチャレンジし、「この夏は、〇〇をやり遂げた。」「こんなことを毎日頑張った。」と自信もって言える夏休みにしてほしいと思います。加えて、ぜひ「命を守る」ことを第一として、健康で安全に過ごせるようご家庭でのご支援をお願いいたします。

夏休み明けに、子供たちが笑顔で学校に戻ってくることを楽しみに待っています。

